

## <K18ゴールドフレーム>

西川のK18ゴールドフレームは、刀職人が刀を叩くように、片方のテンプル部分だけでも450回以上職人の手によって叩かれて作られています。

そうすることで、金がしまり、よりバネ性と粘りを持ちフレームの強度が上がります。

K18フレームのほとんどが型にはめて造るキャスト製法やプレス加工である現在、この手打ちフレームは日本に数人しかいない職人のこだわりであり、機械造りとは違う、人の手による温かさを感じられます。神戸の職人達が魂を込めて造り出した逸品を末永く心ゆくまでお楽しみ下さい。

